〒607-8414 京都市山科区御陵中内町 5 URL:https://www.kyoto-phu.ac.jp

報道関係各位

京都北部で地域医療を支える薬剤師へ実践的学びの場を提供ICTの活用により、本学(山科)と舞鶴を繋ぎ双方向で開催

京都薬科大学と舞鶴共済病院で初の共同講座&実技実習

薬剤師の実務能力向上と役割の変革を支援し、地域の課題解決に寄与

京都薬科大学(京都市山科区)は、2022年2月27日(日)、現役薬剤師を対象とした生涯教育講座「実務支援セミナー」を本学と国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院(京都府舞鶴市)の2会場で、初めて同時開催します。

本学の生涯教育講座の一つである「実務支援セミナー」は、現役薬剤師を対象に、注射薬の無菌混合調整等の実務スキルの習得・向上を目指す講座として、2012年度から毎年度、本学にて実施しています。10回目となる今年度は、初めて、本学会場と舞鶴共済病院会場(以下、舞鶴会場)の2会場をオンラインでつなぎ開催します。講義は本学会場からリアルタイム双方向配信を行い、実技実習はそれぞれの会場で講師が指導します。

舞鶴共済病院がある舞鶴市では、現在、国の平均以上に高齢化が進み、2020年には高齢化率が31.8%、さらに2040年には38.9%に達すると予測されています。高齢化の進展に伴い、地域包括ケアシステムの深化がいっそう進められており、地域医療・チーム医療の重要性が増しています。その中で重要な役割を担う薬剤師への期待が高まる一方、薬剤師がニーズの変化に応えていくための設備や技術習得、研さんの場が不足しているのが現状です。

今回の取り組みでは、こうした背景を踏まえ、ICTの活用により離れた地域の薬剤師へも実践的な 学びの機会を広く提供することで、薬剤師の実務能力向上と役割の変革を支援します。

近年、高齢化とともに医療の高度化・専門化が進む中、薬剤師は「薬物治療の専門家」かつ「最も身近な医療人」としての役割が求められています。2019年の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」改正に伴い、2021年には「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」の認定制度が開始され、薬局ごとの役割や特徴の明確化が進められ、地域医療の核として薬剤師への期待はさらに高まっています。

本学では今後も本講座の継続、充実を図っていくことで、薬剤師の実務能力向上だけでなく、地域の医療機関同士の連携を促進し、地域の抱える問題解決に寄与していくことを目指しています。

2021 年度 実務支援セミナーの詳細は、次頁のとおりです。

※COVID-19 感染拡大の状況により、プログラムを変更または中止する可能性があります。変更等がある場合は本学生涯教育センターWeb サイト(https://skc.kyoto-phu.ac.jp/index.php)にてお知らせします。

2021 年度実務支援セミナー 詳細

<講座名> 2021 年度 実務支援セミナー「注射薬の無菌混合調製~がん化学療法と在宅医療~」

<日 時> 2022年2月27日(日)10:00~16:00

<場 所> 【本学会場】京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 【舞鶴会場】国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院

<受講者数>【本学会場】20人 【舞鶴会場】5人

< 概要> 注射薬調製に必要な基本的知識を学び、クリーンベンチや安全キャビネット内で注射薬の取り扱い、無菌操作、輸液・TPNの混合調製手技を実習します。さらに、がん化学療法の実際、注射薬の安全管理上の注意や投薬後のフォローの重要性など一歩踏み込んで考えます。

<プログラム詳細>

10:00~11:15 【導入講義】

注射薬無菌混合調製に必要な基本的知識、外来化学療法の実際

11:15~12:10 【ランチョンミーティング】 在宅医療で使用される医療材料

12:30~15:50 【実技実習】

衛生的手洗い、手指消毒、帽子・マスク・手袋・ガウンの装着 注射薬混合調製 (アンプル、バイアルの取り扱い、薬液採取、陰圧操作) ワクチン充填の手技、配合変化の実態

15:50~16:00 質疑応答、講評など

<講師>

【本学会場】

京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 助教 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 特命教授 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 特命教授

【舞鶴会場】

舞鶴共済病院 薬剤科 部長 医療薬学専門薬剤師 京都薬科大学 生涯教育センター センター長/教授 京都薬科大学 生涯教育センター 特命教授 がん指導薬剤師 中村 暢彦 先生がん専門薬剤師 豕瀬 諒 先生

小川 賀偉 先生 山内 一恭 先生

藤村 保夫 先生 楠本 正明 先生 五十嵐 惠美子 先生

<認定薬剤師認証研修について>

本学は、2018 年 2 月に認定薬剤師認証研修機関として薬剤師認定制度認証機構 (CPC) より認証を取得しており、本講座は G24 計 3.5 単位として単位認定されます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

京都薬科大学 企画·広報課 担当:山口·谷垣 TEL: 075-595-4691 FAX: 075-595-4750 kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp